

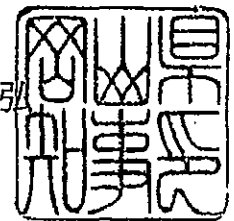


道 建 第 5 4 号

平成20年10月15日

国土交通省道路局長 殿

岡山県知事 石 井 正 弘



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月17日付け、国道企第37号で依頼のこのこと
については、別紙のとおりです。

今後の道路行政についての意見・提言

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

岡山県

1. 地方の道路整備財源の充実

本県では、地域高規格道路をはじめとする地域間連絡道路の整備や都市部の渋滞対策としての環状道路の整備、交通安全対策、災害時における緊急輸送道路の確保、中山間地域での「おかやまスタンダード」に基づく効率的な整備など、地域の実情に応じた道路整備を推進しているところである。

今後とも、地方が必要とする道路整備を計画的、重点的に進めていくためには、道路整備のための財源の安定的な確保が不可欠である。財源の確保に当たっては、従来から一般財源等を充当して道路整備を実施してきた地方の実情をふまえ、地方分権の流れに沿って、地方が主体的に道路整備に取り組めるよう、地方財源の充実を図るべきである。

2. 国直轄道路事業への地方負担の見直し

国直轄道路事業負担金については、自治体に対して個別に財政負担を課する極めて不合理なものであることから、早急に見直すべきであり、特に、維持管理に係る国直轄事業負担金は、本来管理主体が負担すべきものであることから、直ちに廃止すべきである。

3. 国が管理する道路の円滑な地方移管

国が管理する道路の地方への移管に当たっては、平成20年10月3日付けで全国知事会が示した、「直轄国道、一級河川の見直しの具体的な方向について」にしたがって、具体的な移譲範囲をはじめ、財政措置、人員確保等について、十分に協議・調整を行うこと。

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

結で等環くま増新め
 のろ市進通多高に、求
 国こ敷促交おの速等が
 四と倉流やな心急理と
 中たや交減今関、管こ
 りて山的のどす化持く
 よめ岡域故な対顕なて
 に高、広事策にの切し
 備には、通対心題適応
 整実て策交全安課の対
 の着い対、安・る等に
 網をお滞化通。全え梁切
 路性に渋強交る安抱橋適
 道点備る携のい、のた、
 速扱整け連めてえ域しし
 高の路おのたえ加地化対。
 て道に北の抱に間齡にる。
 はし、部県善をら山高題い
 県とが市と改題れ中る課て
 本点る都南の課こ、すなれ
 節あの県境のり加たら

○課題

岡山市や倉敷市等の市街地やその周辺地域では交通渋滞が著しく、県民生活や社会経済活動に影響を及ぼしている。

活発な経済活動を促進するには、岡山空港や水島港などの物流拠点へのアクセス性向上を図る必要がある。

道南が速県備高、整、流路、め、交道のた的る域するめ、促進する層よを上に流を上交の性的相互点、北のク間、ア域、し、C地とIど点やな節、実化、結、充、強、通、る、携、交、な、連、る、の、更、の、あ、る、の、北、で、四、網、県、要、中、路、と、必、

都市部では、うるおいや安らぎを与える快適な都市空間の形成が求められており、市街地の良好な環境づくりが必要である。

とや要
制策必
規対る
行災め
通防高
に、を
等り性
時あ頼
雨が信
豪所、
は安全
に要安
路必の
道が路
送策道
輸対、
急のり
緊へよ
る等に
な石ど
と落な
線、化
命や震
生間耐
の区の
域の梁
地な橋

死傷事故率、死傷事故件数、死者数はいずれも全国ワースト上
死位となっており、交通安全対策を一層進める必要がある。

高齢化が進行する中、自動車に大きく依存している中山間地域では、日常生活を支える道路の整備が必要である。

高効率のネットワークの構築、高速道路による交通の円滑化、橋梁等の適切な維持管理、高齢者の生活の利便性等の需要がある。

今後の道路行政についての意見・提言

②－２ 地域の目指すべき将来像

岡山県

地域の現状や課題を踏まえ、「快適生活県おかやま」の実現のため、次の６項目を今後の道づくりの目指すべき方向として位置づけ道路整備を進める。

《今後の道づくりの方向》

- ①人と物のスムーズな移動による経済活力の向上
- ②広域的な交流促進による豊かな地域づくり
- ③快適で人にやさしい魅力ある都市づくり
- ④安全・安心の確保
- ⑤自立した活力ある地域づくり
- ⑥ソフト施策による効率的・効果的な道路利用の促進

「安全・安心の岡山」の創造
「産業と交流の岡山」の創造

《「快適生活県おかやま」の実現》

- ・安全で安心な活力ある地域で、人々の心が通い合う「いきいき岡山」
- ・中四国の拠点として、グローバルに発展する「きらめき岡山」
- ・世界とつながり自立した「中四国州」

今後の道路行政についての意見・提言

③道路施策の重点事項

岡山県

1. **人と物のスムーズな移動による経済活力の向上**
 - ・岡山市や倉敷市等の市街地やその周辺地域の著しい渋滞が、県民生活や社会経済活動に影響を及ぼしていることか
ら、都市部で道路の整備やボトルネックとなる交差点の改良、立体化等による渋滞対策を進めるとともに、
活発な経済活動の促進するため、岡山空港、水島港等の物流拠点へのアクセス道路の整備を進めること
 - ・駅前広場の整備やパークアンドライドなど公共交通機関との連携を強化し、総合的な交通体系を整備すること
2. **広域的な交流促進による豊かな地域づくり**
 - ・中四国の交通結節点としての拠点性を高めるとともに、中四国の連携を一層強化するため、高速道路網の更なる充
実や高速道路ICへのアクセス道路の整備を進めるとともに、県南と県北の連携強化や、観光振興による地域づく
りを支えるため、地域高規格道路をはじめとする地域間連絡道路の整備を進めること
3. **快適で人にやさしい魅力ある都市づくり**
 - ・うるおいと安らぎを与え、快適な都市空間を形成するため、骨格となる街路整備による都市内交通の円滑化、無電
柱化、沿道と一体となった面的整備の推進、自転車歩行者道等へのユニバーサルデザインの導入、遮音壁設置、低
騒音舗装や道路緑化など沿道環境への配慮した道路整備等により、魅力ある都市づくりを進めること
4. **安全・安心の確保**
 - ・地域での生命線となる緊急輸送道路等、信頼性の高い道路ネットワークを形成するため、橋梁の耐震化や落石対策、
豪雨時の土砂災害防止対策等を重点的に推進すること
 - ・高齢化等にも配慮し、交通難所解消等を図るため、通学路の歩道整備や事故危険箇所等での交通事故対策を推進
すること
 - ・救急医療に必要とされるため、高度な医療を提供する救急医療施設へのアクセスを確保すること
 - ・今後急速に高齢化が進行することから、アセットマネジメントの導入等により、適切な時期に必要な
補修等を行うなど計画的な維持管理を行い、長寿命化を図ること
5. **自立した活力ある地域づくり**
 - ・自立した活力ある地域づくりを進めるため、合併市町等において、周辺地域から圏域中心への通勤・通学、買物等
の、日常生活を支える生活幹線道路を効率的に整備することにより連携を強化するとともに、中山間地域における、
医療及び福祉、教育、文化施設と集落とを結ぶ道路など、日常生活に密着した道路において2車線にこだわらない
地域の実情に応じた整備を行うこと
6. **ソフト施策による効率的・効果的な道路利用の促進**
 - ・パークアンドバスライドなど交通需要マネジメント等の推進により、都市内交通の円滑化を図ること
 - ・高速道路料金の引下げ等により既存高速道路ネットワークを有効活用し、渋滞緩和、物流コストの低減、さらには
地域間交流の促進を図ること
 - ・通行規制情報や道路画像等、道路利用者が必要とするリアルタイムな情報を、IT技術を活用して的確
に提供し、安全で円滑なモビリティの確保を図ること
 - ・住民と事故危険箇所等の情報を共有し安全意識の高揚を図ること